

1 【一行アキ】

「土木学会初代会長古市公威に関する研究」について【討議欄 A】

【一行アキ】

(↑明朝12pt)

(↑ゴシック12pt)

『土木史研究』, vol.(年), pp. (ゴシック9pt)

5 【一行アキ】

討議論文の出展を明記する。
『土木史研究』, 巻名, ページ

討議者の場合は、タイトルの後
に【討議欄 A】を付ける。

四谷 太郎*

【一行アキ】

(↑明朝9pt)

8 → 1〜7行目までに討議題名、著者名をバランスよく配置して下さい。

9 本文は8行目から始める。
10 討議者は、本文冒頭にて討議の対象論文と、
討議を行う理由を簡単に記すこと。
15 回答者は、指摘事項に対して回答の概略を簡単に記すこと。

【2段組みについて】

片側25字 真ん中に2〜3字空ける
2段組みにて作成し、1頁に収める
(25字×51行×2段、文字明朝9pt)

表-1 AとBとの関係

	A	B

〔表のキャプションは、上に記載〕

30 図・表・写真は、片段に納めていただきますが、
文字が小さくなる場合は、全段を使用して下さい。
(空きへの文字の組み込みは、原則として下
けて下さい)。

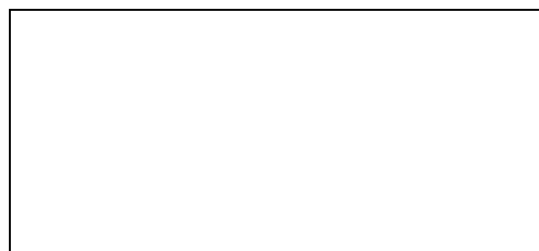


図-1 AとBとの関係

〔図のキャプションは、下に記載〕

写真-1 四谷の地下空間 (撮影: ○○, 1992)

〔写真のキャプションは、下に記載〕

・図-○、表-○、写真-○の文字はゴシック体9pt、
キャプション内容は明朝体9ptとして下さい。

25 □□□□ 29
2〜3字
空き

新しい章に移る場合は1行空ける
章--- 1 2 ...
節--- (1) (2) ...
項--- a) b) ... (フォントはゴシック体9pt)

【引用について】

他の論文や著作からの引用は、それが明確になるよう記述してください。

例

①文章をそのまま引用する場合

引用文の前後を1行あけて、引用文を1字下げ
か「」などで囲む

②引用文を本文中に記述する場合引用文を挿入
する場合はそれを「」などで囲む。

著者の表現で記述する場合は不要。

①②いずれの場合も、必ず引用箇所の直後に
() 内で引用文献を記すか、または参考文献
の表記方法に従って引用箇所末に番号を付し、
引用文献を示すこと。

【参考文献について】

参考にした文献は、引用順に番号をつけて本文末
にまとめて記載し¹⁾、文中にはその番号を右肩に
示して²⁾、文末の文献と対応させてください。

参考文献←ゴシック体9pt、以下明朝体9pt

1) Lamb, H: Hydrodynamics, 6th ed., Cambridge
〔表のキャプションは、上に記載〕

Univ. Press, P. 65, 1964.

2) Miles, J. W. : On the generation of surface
waves
by shear flows, J. Fluid Mech., Vol. 3, Pt. 2,
pp. 185~204, Aug. 1957.

著者数が多い場合、第一著者に続いて、図・表・
写真のキャプションは、et al. と省略下さい。
英文併記の必要はありません。

3) 土木学会編:『ニューフロンティア地下空間』, 技報堂出
版, pp. 9~15, 1990年。

← 脚注は罫線以下に記載する